

| | |
|------------|-----------|
| ホームページへの掲載 | |
| 未 | 3月23日掲載予定 |

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校長 水野 慎治

学校住所 岐阜市西秋沢 2-363-1 電話 058-239-9712

1 会議の名称 第2回学校評議委員会

2 会議の構成

委員

村瀬 秀樹 様 徳山団地 自治会長
木野村文男 様 株式会社 大和 代表取締役
松本 和久 様 岐阜聖徳学園大学 教育学部特別支援教育専修 准教授
高倉 勇 様 本巣市民生委員 児童委員協議会児童委員
牛丸 真児 様 瑞穂市社会福祉協議会 福祉総合相談センター相談支援専門員

学校側

| | | | |
|---------|--------|-------|-------|
| P T A会長 | 太田 由紀子 | 小学部主事 | 吉田 孝弘 |
| 校 長 | 水野 慎治 | 中学部主事 | 山内 康弘 |
| 事務部長 | 松野 聡美 | 高等部主事 | 田邊 克敏 |
| 教 頭 | 吉田 晃樹 | 教務主任 | 服部 純 |

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 日 時：令和2年2月6日（木） 9時30分～12時00分
場 所：岐阜本巣特別支援学校 校長室
出席者：委員5人、学校側8人

5 会議の概要

(1) 授業参観（小学部）

・小学部の授業を見学していただき、合わせて高等部食品加工班喫茶部門が取り組んでいるcafé-和-の様子を見ていただいた。

(2) 高等部3年生進路状況、作業製品の価格について

<作業製品の価格>

・作業担当者から製品と価格について説明

意見1 ティッシュボックスは、ティッシュを入れた状態で展示するとより説得力があると思う。名刺入れは、使い勝手が良さそうである。

意見2 本日午後のバザー（道の駅井織部の里もとす販売会）でも全てが販売されているか。
→ 一部を除いて全て販売する予定である。

意見3 （身に付けている）この身分証入れは、大変力強いデザインで気に入っている。重宝している。

意見4 価格については安いようにも思えるが、適正であると判断する。

※評議員の方からの価格についての意義はなく、適正と認められた。

<高等部進路状況>

・高等部3年生33名の内、5名が未定であるが、就労・入所可能の予定である。その他の3人は在宅や進学予定である。

(3) 事務部事業実績について

- ・年度途中であり、資料1は見込みの資料である。監査は書面での実施。包括監査は、報告がまだまとまっていない。年度中にまとまる予定。決算は、現時点のものである。主なものは、SBと給食の委託である。工事負担も修繕も資料のとおりである。工事予定も資料の通りである。

(4) 学校評価・自己評価について

- 意見1 全体的に目標をクリアしているがABの評価が80%以上出ているので、学校が頑張っていると言える。まだまだ100%を目指し頑張してほしい。自分は花の苗をプランターに植える作業を高学年と交流して行った。高学年の生徒は礼儀が良く先生方の活動が成果として表れている。小さなことの積み重ねが、効果となっていると感じた。
- 意見2 防災教育で関りをもち、徳山の地獄うどんを提供した。楽しみながら、取り組んだ。本校は防災についてかなり大事にされている。いざという時に生徒が防災の対応に機能するか、普段から楽しんで学ぶことが大切。我々も趣旨を変え、楽しむだけでなく、防災への意識を高めていきたい。ここは防災意識の高い学校である。
- 意見3 重複障がいの子が増えている、関特支だけでなく、いろんな学校で見ていくのか。
→ 本校は総合化された学校で重複障がい児を受け入れている。関特支・希望が丘だけでなく、本校の対象地域の児童が来ている。
- 意見4 医ケアの子も増えている。今後、小学部の子でも増えてくるので、よろしく願いたい。
- 意見5 最近の子供で、幼児期・学童期に、家族内での幼少期についての学びがなく、強度行動障がいが多い。支援センターの役割は重大で、コーディネーターの養成は大変良い取組である。個別に柔軟な取り組み、外部資源との連携で、ひきこもり対策等、支援の質が高い。本人・保護者に寄り添った支援を今後も続けていただきたい。
- 意見5 ICTの活用も大事だが、図書に親しむことも大切。特色ある教育活動の点で評価が低いが、珍しい、目立つ活動が良いのではなく、何を大切にしているかを保護者に発信していくことが大切。東濃特支が読書大賞を得たのは、毎朝読書を継続し、それを発信したからである。本校の取り組み、良さをぜひ発信してほしい。
- 意見6 学校生活で多くを占めるは授業であり、学習指導要領が改定され、大きく変わり主体的、対話的深い学びが大切と言われるが、特別支援学校での取り組みの根幹が大きく変わるものではない。管理職等の経験豊富な先生方が若い先生に特別支援教育の財産を伝えていただきたい。そして、外部に向けた研究会をどんどん発信し、特別支援教育の充実を目指してほしい。

(5) 授業参観、café-和-の感想

- 意見1 大変美味しくいただいた。
- 意見2 ハプニング(人とぶつかり水がこぼれる)があっても、生徒が落ち着いて対応できていた。素晴らしい姿であった。

(6) PTA会長より

- ・地域との連携が大事。自分自身痛感することで、幼児期の家族のサポートが大事。特に父親が育児に係るかを学校でもサポートしてほしい。本校PTAでも父親の会を作ったが、参加がないのが現状である。幼児期からのサポートがとても必要である。

(6) 会議のまとめ(校長より)

- ・本日のご助言を、来年度の本校の学校教育に生かしたい。
- ・来年度、スクールバスが増える。今年度の夏にすでに1台増え計6台になる。小1から全員がスクールバスに乗れるようになる。2便制が解消されて、一度に登校でき、通学環境が変わり、一斉に授業が始められ、日課も新しくなる。
- ・評議員は3年を目途にお願いしているが、3年たった後も引き続き本校へのご支援をお願いしたい。